

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴 (貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する)

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。



新年のごあいさつ



いちようだよりをご愛読の皆さん、明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願ひ申し上げます。令和7年を振り返ってみますと、たくさんの出来事がありました。大阪関西万博が50年ぶりに開催されたことや、日本人がノーベル医学・生理学賞、化学賞のダブル受賞をした快挙がありました。そして私びいきですが、今年も大谷選手をはじめ大リーグで日本人選手が大活躍し、ドジャースがワールドシリーズ連覇を成し遂げたことには、とても力をもらいました。今年3月にはWBCもあり、そこでさらに大谷選手が活躍してくれることを期待しております。歴史的な出来事として、日本人初の女性総理の誕生もありました。

一方で、米の高騰、物価高といった経済的な不安や匿名・流動型犯罪グループなどの犯罪増加、火災の多発、熊の出没など安心して暮らせる環境が揺らいでいるのではないかと感じる一年でした。

国際的にみても、争いごとが多い年でした。いまだウクライナ戦争は続いており、イスラエルのほうでも火種がくすぶっていて、いつ戦争が勃発してもおかしくない状況です。近隣の中国も、高市総理の答弁を発端とした反応で、台湾への圧力を強めてきています。

今年こそは、それらのことに決着がつき、安心して過ごせる年であってほしいと切に願っております。

今年の干支は、「午（うま）」であり、午は俊敏さや勇気、行動力の象徴とされております。さらに六十年に一度の「丙午（ひのえうま）」でもあり、情熱や強さを持つといわれておりますので、我々もそれにあやかり、情熱的な動きの多い一年としたいと思っております。

精神科病院に限ったことではありませんが、依然として医療業界を取り巻く環境は厳しく、赤字の病院が全国で七割を超えていると報道されております。逆風が吹いてはおりますが、患者さんをご家族様にとって、そして精神科医療にとっても良い一年でありますように職員一同、一緒になって歩ませていただきたいと思っておりますので、本年もどうかよろしくお願ひいたします。



院長 水津信之

Christmas Concert



12月19日、防府病院では昨年同様、ピアニストの荒瀬美保さん、ヴァイオリニストの石丸泰帆さん、パーカッション奏者の松田将司さんと大久保崇さんの4名をお招きし、毎年恒例のクリスマスコンサートを開催いたしました。

今年もクラシックからクリスマスソング等定番の音楽に加え、当院の患者さんがリクエストした『残酷な天使のテーゼ』等のアニメソングや、今年度の朝ドラのテーマソングであるRADWINPSの『賜物』やハンバート・ハンバートの『ばけばけ』をカッコいいアレンジで披露してくださいました。生演奏ならではの迫力で聴いていた患者さんもスタッフもみな時間を忘れ綺麗なアンサンブルに引き込まれました。演奏の合間には、珍しい打楽器の紹介等もあり、みな興味津々に聴いていました。

来院された4名は、山口県内で、『Sonova』というグループ名で様々な場所でライブ活動をされているそうです。入院生活の中では、なかなか生の音楽に触れる機会は少なく、毎年のクリスマスコンサートが患者さんの入院生活の癒しのひと時となっています。ささやかなクリスマスプレゼントとして今年も素敵な思い出が心に刻まれたようでした。



音楽で
楽しむ
クリスマス

もちつき



12月28日に、「もちつき」が開催されました。当院の年末の恒例行事であり、スタッフをはじめ、病棟の患者さんにも参加して頂いています。

昨年同様、天気恵まれ、暖かい日差しの中で行う事が出来ました。当院では「だいがら」という足踏み式の道具と石臼で、もちをつきます。参加していた患者さんの「よいしょ！よいしょ！」という元気な掛け声のもと、白くきれいなお餅がつきあがりしました。

各病棟に飾る鏡餅は、患者さんに丸める体験をしていただきました。うちわで冷ましながらか餅の形を整えるのが難しい工程ですが、患者さんからは「もちもみが楽しかった」との感想をいただきました。



伝統のだいがら餅つき



できあがったお餅

編集後記

年末年始はいかがお過ごしでしたか？今回はおせちに関する話をご紹介します。おせちには料理一品一品に意味が込められており、黒豆は「まめに働く」、数の子は「子孫繁栄」、田作りは「豊作祈願」、昆布巻きは「喜ぶ」など、縁起のいい願いが込められています。三が日の間は「かまどの神様」を休ませるため、台所仕事をしないという習慣がありました。そのため、日持ちするように濃い味付けにしたり、乾物を使ったりする保存食としてのおせち料理が発展しました。現在では、正月の様々な過ごし方があると思われます。この年が皆様にとってよい1年になりますよう願っております。